



令和7年もどうぞよろしくお願いします

新学期、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。明けましておめでとうございます。1月7日の始業式で、子どもたちに次の話をしました。

1 冬休みの振り返り

冬休み、あっという間の14日間だったことでしょう。クリスマス、大晦日、お正月、初詣など、季節の行事や伝統的な行事がたくさんありました。家の大掃除など、お手伝いをがんばった人もいます。ふだんの学校ではできない、いろいろな体験ができたと思います。



2 お正月の行事

日本には、年神様という新年の神様をお迎えする行事がたくさんあります。「門松」「しめ飾り」「鏡餅」「お年玉」…。(由来を紹介しました。)日本の伝統的な季節の行事は、それぞれ意味があります。「これはなんだろう？」と気になったことがあれば、ぜひ調べてみましょう。



3 目標をもつことの大切さ

新しい年を迎えるにあたって、「今年はこれをがんばろう」「こうなりたい」という目標を考えましたか？ 野球の大リーグで活躍している大谷翔平選手も、小学校6年生の卒業文集や高校生の「人生計画表」に目標を書きました。書いたことの多くが実現しています。みなさんが学校で取り組んでいる「キャリアパスポート」は、夢の実現に向けた大切な勉強です。

4 3学期が終わるとき、どんな姿になっているか？

3学期はとても短く、50日くらいしかありません。でも、次の学年の「0学期」として、とても大切な学期です。今の学年のまとめと次の学年の準備をしましょう。3学期が終わるとき、自分がどのような姿になっていますか、何ができるようになっていきますか、どんな学級・学年になっていますか。それが目標・ゴール地点。その目標に近づくために、何をすればよいのか考えましょう。3学期の最後に、「これをがんばった」「これができるようになった」と言えるといいですね。

3学期も、「元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱい」で、「明日も学校へ行くのが楽しみ」と思える学校をめざします。地域・保護者のみなさま、令和7年も変わらぬご支援よろしくお願いします。



【笑顔いっぱい！】

気になるニュース「窓口受付時間の短縮」

気になるニュースがありました。「役場窓口 受付時間短く(東浦町来年2月 常滑市 来年5月から 働き方改革 試行経て本格導入)」(令和6年12月20日付け中日新聞 知多版)という記事です。

東浦町は、役場の窓口受付を1時間半短くし、8時～16時にする予定です。現在は職員の勤務時間と同じ8時～17時15分ですが、「残業前提の勤務の解消」「創造性のある仕事に取り組む時間の確保」により、「住民満足度の高いサービスの提供」につなげたいとのこと。

さて、学校はどうでしょうか。成岩小学校の教職員の勤務時間は、8時25分～16時55分です。この時間には、7時間45分の勤務と45分の休憩が含まれています。

現在、子どもたちは7時50分～8時15分をめどに登校し、8時25分までに着席することになっています。7時50分には、玄関前で解錠を待っている子が多くいます。学校に行くのを楽しみに思っている子が多いのは、とてもうれしいことです。しかし、登校途中や運動場・教室でけがをした場合、本来は、対応できる職員はほとんどいないのです(解錠のために勤務開始時刻の早い職員が1名いるだけです)。実際には、多くの職員が、勤務開始前に、授業準備や子どもを迎える準備のために出勤しています。これは「早朝残業」ともいえるもので、「出勤していて当然」のことではありません。子どもの登校時刻と職員の勤務開始時刻との差をどうやって近づけていくのか、保護者のみなさんの理解を得ながら、見直していく必要があります。

「学校の働き方改革」は、授業の質を高めるための授業準備の時間や子どもたちと向き合う時間を十分に確保できるようにすることがねらいです。それが、子どもたちの笑顔につながります。学校行事の精選など、できることから取り組んでいます。が、まだまだ考えていくべきことがあると、新聞記事を読んで改めて思いました。(校長 古市和臣)



【おはようございます！】



【登校後、運動場では】

成岩小トピックス(12月)



【3年生校外学習(市内巡り)】



【6年生調理実習】



【特支クリスマスコンサート】